

笠ヶ岳 山行記

2019 年 9 月 13 日～15 日

L : ハンブルクの星

9 月 13 日 (金)

3 連休でしかも連日好天が期待できるとあって日本百名山の笠ヶ岳に登頂した。百名山はこれで 78 座目となった。



笠ヶ岳は昨夏に水晶岳に登頂した時に遠望した文字通り「笠」を想わせるどっしりした大きな山塊が印象的な山。新穂高温泉から笠新道のルートもあるが、鏡池の逆さ槍と穂高を見たかったので行程が 1 日長くなるが敢えて小池新道のルートにした。

浜松を午前 3 時半に出て、新穂高温泉には 8 時前に到着。しかし既に深山荘近くの P5 駐車場 (キャパ 250 台) は満杯だったので止むを得ず鍋平駐車場の P8 に駐車。ここもほぼ満杯。徒歩にて新穂高センターに移動して登山届を提出。ここ

から左俣沢沿いの林道を進んでワサビ平小屋を経て鏡平山荘に 14 時半ごろに到着。期待していた鏡池は午後になってガスがかかっていたが、午後 5 時ごろに嘘のようにガスが晴れて鏡池に逆さ槍ヶ岳と穂高連峰がくっきりと映る光景を眺めることが出来た。ラッキーだった。



「鏡池の逆さ槍ヶ岳と涸沢岳」

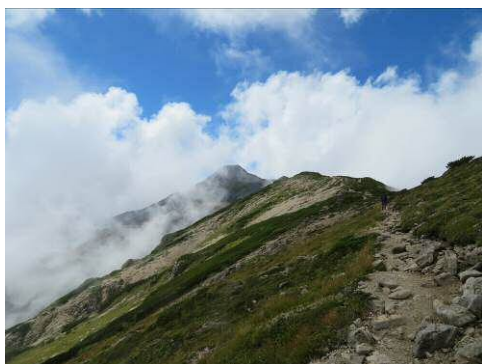
9 月 14 日 (土)

翌朝は弓折岳と双六岳の分岐を経て弓折岳山頂 (2588m) へ。天候は快晴で 360 度の大展望。さらに大ノマ岳、抜戸岳を経て展望が抜群の稜線上を眼前に迫ってくる笠ヶ岳の雄大な山容を楽しみながらゆっくりと進む。抜戸岩を通り抜けて最後の岩だらけのガレ場

を登り切って笠ヶ岳山荘に到着。



「弓折岳山頂(後方は双六岳)」



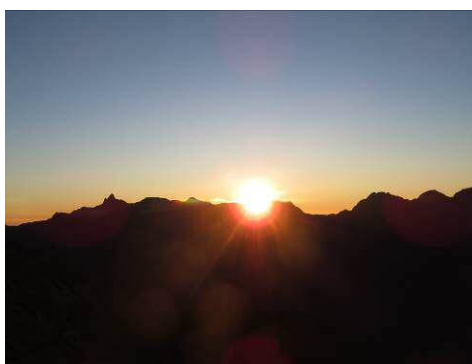
「抜戸岳から笠ヶ岳を望む」

山荘テラスでビールを呑みながら眼前の迫力満点の槍ヶ岳、穂高連峰の雄姿を楽しむ。至福の時だ。

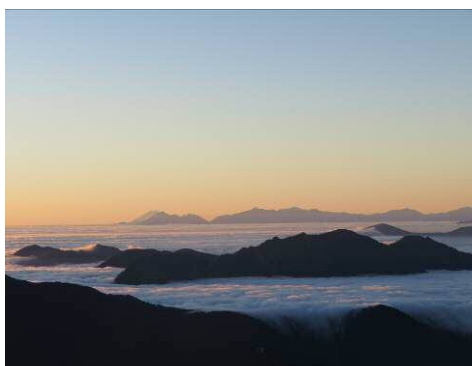
9月15日(日)

3日目は笠ヶ岳山頂からのご来光を拝むため、山荘を4時40分ごろに出て5時頃に山頂(2897m)に立つ。眼前の槍ヶ岳、大喰岳から涸沢岳、穂高連峰を眺め、遠くには富士山、南アルプ

スが徐々に赤く染まる雲海にくっきりと現れている。西には白山の方角に昨夜煌々と輝いた中秋の満月が沈んでいく光景も素晴らしかった。そして5時半ごろに丁度槍ヶ岳、大喰岳、中岳、南岳と続く山の端から出てくるご来光を拝めた。ご来光はいつも神々しくて感動的だ。



「笠ヶ岳山頂からのご来光」



「富士山と南アルプスの雲海を望む」



「笠ヶ岳山頂にて（後方は白山）」

下山は昨日の稜線に戻って抜戸岳手前の分岐から笠新道に入り、一挙に杓子平まで急な下りとなる。午前中だが9月中旬とは思えないくらいの猛暑の下、岩がこれでもか、と言わんばかりに続く道を下りに下って左俣沢の林道出合に着く。やれやれだ。

長い林道を左俣沢の清流を眺めながら新穂高センターへ戻り、下山届を提出。そして鍋平駐車場に戻る。

3日間累計で約23時間、距離約37km、累積標高（上り）が3931m、累積標高（下り）が3894mの行程だった（以上、山旅ログの記録）。連日真夏並みに暑すぎたが、天候に恵まれて素晴らしい山行になった。

【行程】

9月13日（金）

3:30 浜松発

8:30 新穂高・鍋平8番駐車場着

9:30 新穂高センター出発

11:00 ワサビ平小屋

13:30 シシウドヶ原

14:30 鏡平山荘着

9月14日（土）

6:30 鏡平山荘発

7:30 弓折岳山頂

9:00 大ノマ岳

10:30 笠新道（新穂高）分岐

11:30 抜戸岩

13:00 笠ヶ岳山荘着

9月15日（日）

4:40 笠ヶ岳山荘発

5:00 笠が岳山頂

6:50 笠ヶ岳山荘発

8:00 笠新道（新穂高）分岐

9:10 杓子平

12:30 笠新道・左俣沢分岐

13:30 新穂高センター

14:20 新穂高・鍋平8番駐車場着

15:40 平湯の森入湯

21:30 浜松帰着

ハンプルクの星 記